

炎症性腸疾患に対する新薬の特集

第1弾 カログラ®錠

—潰瘍性大腸炎—



特徴

カログラ®錠（有効成分：カロテグラスト）は5-アミノサリチル酸製剤（リアルダ®、ペンタサ®、アサコール®、サラゾピリン®）を服用しても十分な効果が得られなかったり、副作用で治療が続けられなくなったりした中等症の潰瘍性大腸炎に対する寛解導入療法に使用する経口投与可能なα4インテグリン阻害剤として日本で開発され、世界で初めて承認された薬剤です。α4インテグリンは炎症を引き起こすリンパ球の表面にあり、これを介して炎症部位である大腸に集まってきます。したがって、リンパ球が大腸の炎症部位に集まるのを抑えて活動期の症状を改善させます。

使用法と注意点

1回960mg(8錠)を1日3回食後に服用します。錠数が多いですが、飲み忘れなく内服することが重要です。食事を摂らない場合でも必ず内服しましょう。

服用期間は6ヵ月を超えないように、また再治療は少なくとも8週間の休薬期間が必要です。その理由として進行性多巣性白質脳症（PML）の副作用の可能性が否定できないためです。カログラ®錠の臨床試験ではPMLの報告はありませんが、類似した作用機序のナタリズマブ（多発性硬化症治療薬）でPMLの発症が報告されています。ナタリズマブでは2年以上の長期の連続使用で発症リスクが高くなるといわれているため、治療期間が短期となっています。痙攣・手足の麻痺・しゃべりにくさなどの症状が現れた場合は医師・薬剤師に連絡するようにしてください。

また、器官形成期における胎児奇形の可能性があるため、妊婦または妊娠している可能性がある女性はカログラ®錠による治療を受けることができません。服用治療中および服用終了後の3日間以上は避妊するようにしてください。

併用する薬によっては、併用する薬の作用が強くなる可能性もあります。医師や薬剤師に普段内服している薬を知らせるようにしてください。

次回は、ジセレカについて紹介させていただきます。

（文責：薬剤師 南有里）